

重点取組名	トマト有利販売に向けた栽培技術の高度安定化及び付加価値化
普及活動担当	宮城県石巻農業改良普及センター先進技術第二班
主要な活動地域対象農業者	石巻地域トマト生産組織連絡協議会（89戸）
取組結果・成果 <取組のねらい>	<p><取組のねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土耕・養液土耕栽培農家は全員がエコファーマーで、農薬・化学肥料節減栽培面積の拡大や品質の向上を図る。 ・養液栽培農家は肥培管理の制御が容易な特性を活かして、高品質トマトの生産を目指す。 <p><取組結果・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作型ごとに葉柄汁と果実糖度・酸度の調査を行った。調査結果については、品質向上に向けた対策にすぐ使えるものではなく、今後継続して調査しデータの積み重ねを行っていくが、生産者の興味は大きく、意識を変えることに対して一定の効果があつた。これらを通じ、さらに土壌管理の徹底を図り、適切な施肥管理に結びつける。 ・個人別の出荷実績検討表を作成し、今後の生産目標を数字で掲げるように指導を行った。全体の中の自分の位置を確認することで、品質向上に対する意欲の向上に結びついた。 ・選果場の選果レーンについては、作型（半促成・夏秋・抑制）品種（桃太郎系・サカタの品種）によりレーン区分をした。このことにより、従来より均質なロットとなり、販売面でメリットを出すことができた。 ・軟果に対するクレームが多かった抑制栽培については、軟果が多い出荷者に対し区分選果を行うことを告げるなど、品質の均一化に対し、生産者組織が自ら取り組む姿勢の変化が見られた。 ・女性部が新たに結成され、販売促進活動や消費者交流等を通じて産地のPRを行った。これらの支援活動を通じて女性の意識に変化が現れ、出荷査定会等に積極的に参加する女性が増加した。
連携機関，協議会等	
取組の特徴や取組に際しての工夫	活動計画や調査計画とその結果については、対象となる協議会の定例会等を利用し、その内容を随時伝え、情報の共有化に努めた。
【参考】	